

令和元年度「飼料用米多収日本一」及び「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」の受賞者の決定について

令和元年度「飼料用米多収日本一」及び「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」を実施し、農林水産大臣賞をはじめ各受賞者が決定しました。

1. 概要

「飼料用米多収日本一」及び「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」は飼料用米の本作化を推進するため、飼料用米の単収向上や飼料用米を活用した畜産物のブランド化について優れた取組を表彰することにより、その結果を広く紹介するものです。

2. 受賞者について

「飼料用米多収日本一」及び「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」受賞者は以下のとおりです。

「飼料用米多収日本一」受賞者

概要は別添1を御覧ください。

(1) 単位収量の部

褒賞	受賞者	都道府県
農林水産大臣賞	相澤 正之	奈良県
政策統括官賞	福土 正弘	青森県
全国農業協同組合中央会会長賞	出島 博昭	秋田県
全国農業協同組合連合会会長賞	農事組合法人ふながわ 代表者 由井 久也	富山県
協同組合日本飼料工業会会長賞	上田 隆	秋田県
日本農業新聞賞	小松田 光二	秋田県

(2) 地域の平均単収からの増収の部

褒賞	受賞者	都道府県
農林水産大臣賞	株式会社アグライワナガ 代表取締役 岩永 新一郎	佐賀県
政策統括官賞	牟田 基治	佐賀県
全国農業協同組合中央会会長賞	株式会社 M's green 代表取締役 松永 浩二	佐賀県
全国農業協同組合連合会会長賞	梅崎 聖人	福岡県
協同組合日本飼料工業会会長賞	筑紫 東治	佐賀県
日本農業新聞賞	溝口 康博	佐賀県

「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」受賞者

概要は別添2を御覧ください。

褒賞	ブランド名	受賞者	都道府県
農林水産大臣賞	オクノの玉子	株式会社オクノ	兵庫県
政策統括官賞	桜井さんちのひたち米豚	常陽醗酵農法牧場株式会社	茨城県
全国農業協同組合中央会会長賞	えこめ牛	JA菊池ホルス研究会	熊本県
公益社団法人中央畜産会会長賞	平飼い米たまご、おこめ美人	株式会社地主共和商会	三重県
審査員特別賞	川添ヤギ牧場のヤギミルク こだわり卵ボリスブラウン	川添ヤギ牧場 奈良県立磯城野高等学校	高知県 奈良県

3. その他

例年実施している、「飼料用米多収日本一」表彰式（農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会主催）、「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」表彰式（一般社団法人日本養豚協会主催）の日程等については、詳細が決まり次第お知らせします。

<添付資料>

別添1 「飼料用米多収日本一」の概要

別添2 「飼料用米活用畜産物ブランド日本一」の概要

【お問合せ先】

政策統括官付穀物課

担当者：漣上、川口、小池

代表：03-3502-8111（内線4846）

ダイヤルイン：03-3502-5965

FAX：03-6744-2523

「飼料用米多収日本一」の概要

1 趣旨

飼料用米については、食料・農業・農村基本計画（平成 27 年 3 月閣議決定）に定める生産努力目標の確実な達成及び「日本再興戦略」改訂 2015（平成 27 年 6 月閣議決定）に定める、10 年後に担い手の 60kg 当たりの生産コストを 5 割程度低減させるという K P I の実現に向け、生産性を向上させるための取組が重要である。

これらの目標実現に向けた、飼料用米生産農家の生産にかかる技術水準の向上を推進するため、「飼料用米多収日本一」を開催し、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する。

2 内容

全国の飼料用米生産者のうち、多収品種（知事特認を含む）の作付面積がおおむね 1 ha 以上で、生産コスト低減等に取り組む経営体からの応募を受け、学識経験者等で構成される審査委員会による審査を経て、①単位収量の部、②地域の平均単収からの増収の部ごとに、以下の各賞を選出。本表彰制度は、28 年度からの実施であり、今年度は第 4 回目となる。

- (1) 農林水産大臣賞
- (2) 政策統括官賞
- (3) 全国農業協同組合中央会会長賞
- (4) 全国農業協同組合連合会会長賞
- (5) 協同組合日本飼料工業会会長賞
- (6) 日本農業新聞賞

3 審査委員

【委員長】	中野 洋	国立研究開発法人 農業・食品産業技術研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作研究領域 水田栽培グループ長
	山岸 順子	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻作物学研究室 教授
	和家 貴之	株式会社 和家養豚場 代表取締役
	西野 司	全国農業協同組合中央会 農政部長
	栗原 竜也	全国農業協同組合連合会 米穀生産集荷対策部長
	高橋 洋	協同組合日本飼料工業会 専務理事
	加瀬 和美	生活クラブ生活協同組合・東京 副理事長
	高川 麻緒	日本農業新聞 編集局 営農生活部 部長
	淵上 武士	農林水産省政策統括官付穀物課 課長補佐（企画班担当）

令和元年度「飼料用米多収日本一」の受賞者の概要

【単位収量の部】

(敬称略)

褒賞	経営体 (団体名・個人)	住 所	品種及び 作付面積(m ²)	10a当りの 収量 (kg/10a)
農林水産大臣賞	相澤 正之(あいざわ まさゆき)	奈良県奈良市	べこあおば 11,292	940
政策統括官賞	福士 正弘(ふくし まさひろ)	青森県五所川原市	みなゆたか 17,135	938
全国農業協同組合 中央会会長賞	出島 博昭(いでしま ひろあき)	秋田県大館市	秋田63号 18,150	881
全国農業協同組合 連合会会長	農事組合法人ふながわ 代表者 由井 久也(よしい ひさなり)	富山県朝日町	やまだわら 50,780	820
協同組合日本飼料 工業会会長賞	上田 隆(うえだ たかし)	秋田県横手市	ふくひびき 23,570	819
日本農業新聞賞	小松田 光二(こまつだ こうじ)	秋田県横手市	秋田63号 10,340	867

【地域の平均単収からの増収の部】

褒賞	経営体 (団体名・個人)	住 所	品種及び 作付面積(m ²)	地域の平均単収 からの増収 (kg/10a)
農林水産大臣賞	株式会社アグリワナガ 代表取締役 岩永 新一郎(いわなが しんいちろう)	佐賀県白石町	ミズホチカラ 85,442	338.6
政策統括官賞	牟田 基治(むた もとはる)	佐賀県みやき町	ミズホチカラ 12,662	323.7
全国農業協同組合 中央会会長賞	株式会社 M's green 代表取締役 松永 浩二(まつなが こうじ)	佐賀県みやき町	ミズホチカラ 17,050	310.7
全国農業協同組合 連合会会長	梅崎 聖人(うめざき きよと)	福岡県みやま市	ミズホチカラ 19,247	319.6
協同組合日本飼料 工業会会長賞	筑紫 東治(ちくし とうじ)	佐賀県鳥栖市	ミズホチカラ 43,467	268.1
日本農業新聞賞	溝口 康博(みぞぐち やすひろ)	佐賀県白石町	ミズホチカラ 33,901	302.6

「米活用畜産物ブランド日本一」の概要

1 趣旨

飼料用米については、食料・農業・農村基本計画（平成27年3月閣議決定）で生産拡大が位置付けられており、生産性の向上とともに飼料用米の特徴を活かした畜産物の高付加価値化を図ることが求められている。

飼料用米を給与した畜産物のブランド力強化とともに、飼料用米の定着化を推進するため、「飼料用米活用畜産物ブランド日本一コンテスト」を開催し、耕種農家と畜産農家の連携により、飼料米を活用した畜産物の高付加価値化の取組を実践している先進的かつ他の模範となる畜産事業者等を表彰し、その取組・成果を広く普及する。

2 内容

全国の飼料用米を活用した畜産物の高付加価値化に取り組む畜産事業者等からの応募を受け、畜産関係者及び学識経験者等で構成される審査委員会による審査を経て、以下の各賞を選出。本表彰は、平成29年度からの実施であり、今回は3回目となる。（主催：一般社団法人日本養豚協会）

3 受賞者の概要

褒章	ブランド名	受賞者	所在地
農林水産大臣賞	オクノの玉子	株式会社オクノ	兵庫県加古川市
政策統括官賞	桜井さんちのひたち米豚	常陽醜酵農法牧場 株式会社	茨城県牛久市
全国農業協同組合中央会会長賞	えこめ牛	JA 菊池ホルス研究会	熊本県菊池市
公益社団法人中央畜産会会長賞	平飼い米たまご、おこめ美人	株式会社地主共和商会	三重県多気郡
審査員特別賞	川添ヤギ牧場のヤギミルク	川添ヤギ牧場	高知県南国市
	こだわり卵ボリスブラウン	奈良県立磯城野高等学校	奈良県磯城郡